

代表運営幹事ご挨拶

学校保健・特別支援教育理学療法部門の代表運営幹事をお引き受けし、3期6年の歳月が経過しました。また部会に関連する学校保健検討委員会委員1期2年、さらに学校保健委員会委員長を拝命し1期2年の歳月が経過し、新たな年度を迎え活動を始めたところです。

部門としてこれまで2回の研究会と3回の研修会を開催し、また学校保健委員会では、3回の研修会を開催しました。そこから見えてきたものは、理学療法士による学校保健および特別支援教育への介入支援は、「医学的リハビリテーション」から「教育的リハビリテーション」への支援領域の移行に関する認識の変更についてです。当然、支援領域の移行と共に介入支援モデルの変更が求められることとなります。

この活動の6年間は、その認識の変更と介入支援の在り方について、会員の皆様のご理解とご協力を賜ることに努めた歳月でした。温かいご支援とご鞭撻を戴きお陰を持ちまして、本部会と全国の最前線で活躍されている会員諸氏とのネットワークも構築されつつあり、この活動もやっと長いトンネルを抜け出し、理論から実践の段階へ向かおうとしています。目指すこの「教育的リハビリテーション」の領域は、理学療法士の強いリーダーシップが求められています。なぜならば、高度に進化し分化する社会にあっては、当然学校教育においても児童生徒のニーズは複雑多様化し、多くの専門家の支援なくして教育が成り立たなくなっている現状にあること。そのニーズの一端に応える存在である理学療法士が医学・医療を深く理解していることを前提にした介入支援の専門家であるからです。理学療法が新たに教育的理学療法として、より普遍的な支援サービスとして真価が問われています。

会員諸氏と共に新たな地平を開いていくことを期待し祈念致します。

2021年8月吉日

学校保健・特別支援教育理学療法部会

代表運営幹事 眞鍋 克博